

人新世を耕す

帯広畜産大学 筒木潔名誉教授

②

自家米を焼畑で生産

不作でも 1・5 倍以上に

マレーシアのサラワク州の焼畑民はほとんど 2 次林（雑木林）のみを利用して、十分な休閑期間を使って焼畑を行い、陸

稲、トウモロコシ、サツマイモ、タピオカや多様な野菜類をそれぞれの作物に適した土地で栽培している。陸稲に関して言えば 1 年に 138 日から 175 日の労働によっ

て、不作年でも年間家族消費量の 1・5 倍以上の、豊作年には 3 倍以上の米を生産することができ

置される。森林の側から見れば、10 年に一度焼畑として利用されることにより、地上部の養分が土壌中に還元されるとともに、酸性や硬度などの土壌の好ましくない性質が改良される。有用な樹種が選抜・植林され、より価値の高い森林として育成されることになる。

栽培期間は 1 年のみ焼畑として利用される期間は通常 1 年間のみであり、その後は休閑と地力回復のための 2 次林として管理され 10 年近く放

また、焼畑の周りの 2

次林や 1 次林（原生林）は狩猟、漁労、採集の場であり、森の住民にとっ て米以外の食糧需要と栄養補給の大きな部分をまかなっており、482 種類もの天然の植物が食料、繊維、飼料、薬、建設資材、染色材料、装飾、燃料、狩猟用の毒、防虫剤、工芸材料、柵の材料として利用されている。



切り出された丸太



排水路から浚渫された土砂

(サラワク州プランテーション開発)

て、大規模な林業のための森林伐採を容易にし、オイルパームなどのプランテーションを開設し、森の奥に水力発電ダムを建設するためであり、これらの開発行為による環境破壊の方がはるかに深刻だったのである。

森林伐採業者は販売と輸出に適した大きな樹木を求めて、森林の中をブルドーザーで縦横無尽に動きまわり、伐採対象以外の樹種と林床植生をなぎ倒すばかりか、先住民の焼畑や2次林の中の果樹を踏みつけ、森林の表土を流出させ、河川を土砂で汚染している。

焼畑の原理は、自然の

開発による環境破壊

このような焼畑は現在、自然環境の破壊につながる。先住民の生活文化の向上に貢献しな

いなどの理由で政府によって禁止されたり、消滅が促進されたりしている。しかし、焼畑禁止の本当の目的は森に住む人々を森から追い出し

さまざまな漁法によって捕えた魚は食糧全体の3分の1を占め、狩りやわなでしとめた動物は食糧摂取量の20%以上に相当したと報告されている。

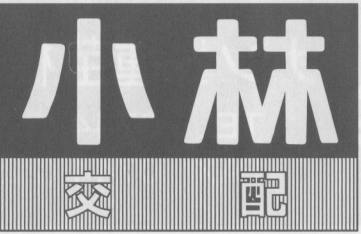
また、森林で採集されるシダ、タケノコ、キノコなどの山菜類は、焼畑や菜園で栽培される野菜類を補い、食事の内容を豊かにしている。

植生によって蓄えられた養分を作物の養分として利用することであり、また養分以外にも、休閑期間中に整えられた作物の生育に適した物理的、化学的、生物(微生物)的土壌条件を利用することである。

先進国にも焼畑原理

農業生産のために必要な農地面積が拡大するに伴い先進国では焼畑が行われなくなってきたが、それでも焼畑の原理を代替する技術は近代農業にも生かされてきた。

日本における森林と農業の結びつきの例としては、関東平野における雑木林と畑作の結びつきを挙げる事ができる。戦前までは関東平野の台地上での畑作は入会地としての雑木林の存在と不可分であり、雑木林で採集された落葉が堆肥化されて畑地に施用されてきた。



兵庫県加古川市粟津四〇四
小林種苗株式会社

また、水田においても雑木林で採取された若木の茎葉や草が緑肥として施用されてきた。落葉堆

採種技術を誇る松田

枝豆・菜豆・豌豆・ほうれん草
新品種育成・確実な採種・さつ予約申込...

枝豆新品種
白毛房成(愛国)
早生摩周(茶豆)
帯広グリーン(大莢)
早生幸(房成)

(株) マツダ樹生園

〒080-0201 北海道音更町木野大通り東五丁目
TEL(0)255)321-6252(代)
試験農場 音更町 鈴蘭農場



充実した北海道の花タネ採種に
全力を注いでいます

(株) 札幌採種園

取締役社長 望月 正実
〒003-0027 札幌市白石区本通 17-北17-1
TEL(011)866-0011 FAX(011)866-7700

肥は作物の病害を防止するうえでも効果があつたようである(犬井正.. 関東の平地林―農の風景、宮本常一と歩いた昭和の日本13関東甲信越③所収)。里山と農業の結びつきについては、日本各地の山村では普遍的に存在したものと考えられる。

焼畑自体も昭和20年代まで日本の各地で行われてきたが、その後の高度成長期に入り終焉を迎えた。しかし、長年にわたる焼畑の経験は、衣食住の習慣、儀礼、年中行事、口承文芸、芸能、神社の儀式などを含む日本の基底文化の中に生き続けている。

(つづく)

ご意見・ご感想をお寄せください

日本種苗新聞紙面、弊社ウェブサイトへの意見、感想をお寄せください。
※返信・対応をお約束するものではありません。ご了承ください。

商品・催し物情報などお待ちしております